

## 地域の経済動向(令和6年4-6月期) 《十勝地域》

### 1 経済動向に係る企業等の声(4~6月期)

#### 【建設業】

- ・ 技術系職員の不足が深刻。社員の退職が進む中、技術力の継承は喫緊の課題。しかし、売り手市場の中、思うように採用が進まず、大学等との連携やセミナーへの積極的な参加、賃上げなどにも取り組んでいる。(建築業)
- ・ 物価高騰の影響で新築着工やリフォーム工事の受注が伸び悩み、売上に影響を受けていると聞いた。(商工会)

#### 【製造業】

- ・ 大企業や取引先の価格転嫁に対する理解度は、以前に比べ改善してきているものの、まだ十分ではない。受注者側の交渉力は弱く、引き続き、行政のバックアップが必要。(機械製造業)

#### 【卸売・小売業】

- ・ 社員の仕事に対する意識改革が急務だが、人手不足が深刻化する中、OJTもままならない。社会に入る前のキャリア教育の充実が望まれる。(自動車小売業)



#### 【運輸業】

- ・ 売上高はコロナ前と比較しても同等か上回っているものの、ガソリンやLPガス等燃料の高騰や人件費の増加などの経費が増加しているため利益は減少している。LPガス車輻は老朽化とLPガスの小売価格増加、HV車輻と比較して燃費がかなり悪いなど、車輻の更新を行いたいところだが、昨今のタクシー需要減少やドライバー不足、利益の減少、その他設備等の老朽化もあり投資判断がつかない。(道路旅客運送業)
- ・ 帯広市でも中心部の衰退や大型店の撤退などで人が集まる場所が減少しており、タクシーの需要も減少している。ライドシェアの全面解禁は現時点で不透明な部分も多く反対であるが、今後のドライバー不足等を鑑みるといずれ全面解禁されなければ、地域交通の維持が難しいとも考えている。ライドシェアでドライバー体験をすることで、本業より「ドライバー業」に魅力を感じる人が増え、転職につながることも考えている。(道路旅客運送業)
- ・ 制度上、従業員や地域の実態にリアルタイムで対応した増車ができない。ドライバー不足が深刻化する中、台数要件など、制度の見直しも必要だと思う。(道路旅客運送業)
- ・ 従業員の高齢化が進む中、思うように採用も進まず、人員確保に苦慮。(運送業)



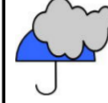

#### 【サービス業】

- ・ バスの費用等が高騰していることでツアー価格が上がってしまい、旅行会社が商品数を減らしているなどで、4~5月の入り込み客数は振るわなかった。道央発の比較的安価なパッケージツアーが少なくなっており、今後は、客単価を上げて入り込み客数によらない収益体質を目指すのか、例えば目玉となるようなイベントやコンテンツを作り、入り込み客数を増やす取組を進めるのかなど、どういった方向性で収益を確保していくのかを検討しているところ。(宿泊業)
- ・ 昨年同時期に比べると、体験ツアーの申込や引き合いは増えている。インバウンドは全体の3割程度。利幅の大きいオーダーメイドツアーについても問い合わせ件数は増えている。(宿泊業)
- ・ 飲食店は、コロナ禍後は人出が回復すると思っていたが、想定よりも回復していない状況。長期のコロナ自粛で生活スタイルが変化してしまい、回復までは時間がかかるのではないかと思う。(商工会)
- ・ ホテルからは、人手が足りないため結婚式など催事の受注をコントロールせざるを得ないという話しを聞いている。(商工会議所)









## 2 道内金融機関から見た地域景況感(4-6月期)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

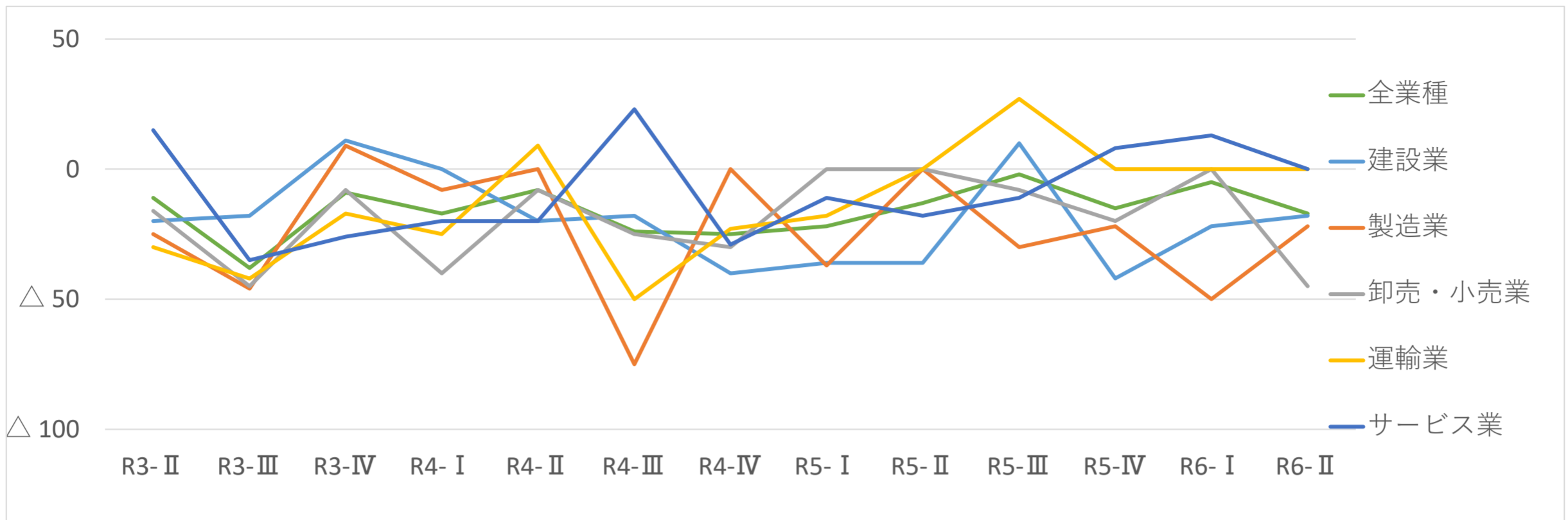
### 【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産動向	消費動向	判断理由	方向感	判断理由
帯広信用金庫				<p>当金庫が実施した今期の地域企業景況動向調査の結果、地域企業の今期の業況判断DIが、前期比改善したものの△10となったことから「やや低調」と判断した。</p> <p>生産動向では、生乳生産量については持ち直してきており、農作物の生育状況は平年並みとなっているものの、製造業の業況判断DIが、今期は△25と大幅に悪化したこと等をふまえ、「やや低調」と判断した。</p> <p>消費動向は、同調査において小売業の業況判断DIが前期比小幅に改善したものの、△18となったことや、サービス業の一部(宿泊)においては業況DIが△12となっていることから、「やや低調」と判断した。</p>		<p>当金庫が実施した今期の地域企業景況動向調査の結果、地域企業の今期の業況判断DI見通しが、△14と今期比ほぼ同水準であることから、「変わらない」と判断した。</p>

### 【景況感の推移】

	R4-Ⅲ	R4-Ⅳ	R5-Ⅰ	R5-Ⅱ	R5-Ⅲ	R5-Ⅳ	R6-Ⅰ	R6-Ⅱ
帯広信用金庫								

### 3 業種別の業況感BSI(企業経営者意識調査)



	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III	R4-IV	R5-I	R5-II	R5-III	R5-IV	R6-I	R6-II
全業種	△ 11	△ 38	△ 9	△ 17	△ 8	△ 24	△ 25	△ 22	△ 13	△ 2	△ 15	△ 5	△ 17
建設業	△ 20	△ 18	11	0	△ 20	△ 18	△ 40	△ 36	△ 36	10	△ 42	△ 22	△ 18
製造業	△ 25	△ 46	9	△ 8	0	△ 75	0	△ 37	0	△ 30	△ 22	△ 50	△ 22
卸売・小売業	△ 16	△ 45	△ 8	△ 40	△ 8	△ 25	△ 30	0	0	△ 8	△ 20	0	△ 45
運輸業	△ 30	△ 42	△ 17	△ 25	9	△ 50	△ 23	△ 18	0	27	0	0	0
サービス業	15	△ 35	△ 26	△ 20	△ 20	23	△ 29	△ 11	△ 18	△ 11	8	13	0

### 4 各種経済指標

